



はじまりのおはなし

あるところに、大阪府立大学V-stationがありました。
そこは、ボランティアをしたい人や、仲間をふやしたい人たちが
やってくるところでした。



ある日、そこに、「しらすぎで何か新しいことをはじめたいなあ」と、
モモの木という団体の人が、相談にやってきました。
その人は、しらすぎ駅のちかくの「おうちcafeモモ」の店長さんでした。



その話を聞いた、大阪府立大学の大学生たちが、
「私たちもいっしょに何か新しいことをやりたい！」と言ったので、
モモの木の人と仲間になりました。



それから、であった仲間たちは、たくさんたくさん話し合いました。

「しらさぎのみんなが集まれる場所がほしいなま」

「おいしいご飯が食べられたらいいなま」

「人と人とのつながりができたらいいなま」

と、いろんな願いがあふれてきました。



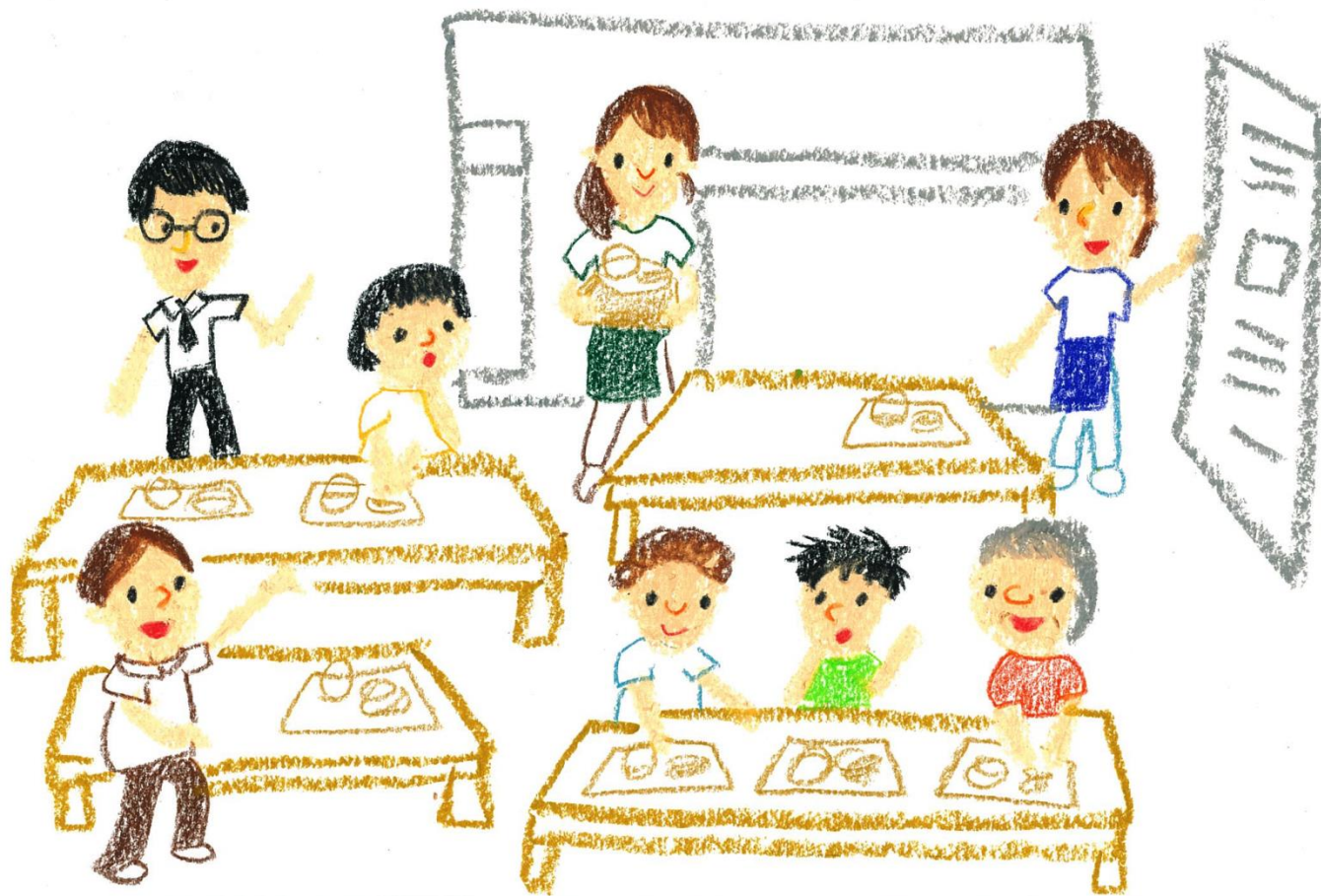
そこで、みんなは、「地域の居場所づくりをしよう！」と決意し、
「しらさぎおうちごはん」をつくることになりました。



しらさぎおうちごはんは、モモの木のお店を借りて行うことになりました。
大学生たちは、教育や福祉、栄養や社会など、
自分たちが勉強していることをつかって、知恵をしばりました。
V-stationは、しらさぎの人たちとのつながりをつくったり、
しらさぎおうちごはんを一緒にやりたいという人を集めたりしました。



そして、ついに、2018年8月20日、
しらさぎおうちごはんのおひろめ会が行われました。
おひろめ会には、ちかくで子ども食堂をやっている人や自治会のみんな、
議員さんや社会福祉協議会のお兄さんお姉さんも来ました。



しらさぎおうちごはんが、どんなところかを説明したり、
しらさぎに住む人たちが今困っていることなどを、お話ししたりしました。
これから、しらさぎおうちごはんが、いろいろな人の居場所になって、
しらさぎの町が盛り上がっていくと思うと、とてもワクワクしてきました。



しかし、しらさぎおうちごはんを続けるためにはお金が必要です。
大学のお祭りでお店を開いたり、寄付をもらったり、
参加費をもらうことで、お金をやりくりしていこうと思います。



2018年12月3日から、月曜の夕方に本格的にオープンです。
たくさん考えて思い描いた、しらさぎおうちごはんをはじめられるように、
これからも頑張りたいなとみんなは思いました。
どうぞよろしく申し上げます。

